

本リリースは株式会社 DBMaker Japan とイーズ・コミュニケーションズ株式会社の共同リリースです。
重複して配信される場合がございますが、あらかじめご了承ください。

報道関係各位

2007年12月11日
株式会社 DBMaker Japan
イーズ・コミュニケーションズ株式会社

DBMaker Japan とイーズ・コミュニケーションズ、 社内に蓄積されている貴重な情報資産を 簡単・自由・安全に利用するためのソリューション提供で協業

株式会社 DBMaker Japan (本社 東京都渋谷区、代表取締役社長 蕭 炯森 (しょう けいしん) 以下 DBMaker) とイーズ・コミュニケーションズ株式会社 (本社 東京都港区、代表取締役社長 上野 均、以下 イーズ) の両社は、社内に蓄積されている貴重な情報資産を簡単・自由・安全に利用するためのソリューション提供を共同で行うことで合意いたしました。

今回の協業によって、DBMaker が販売を行っているマルチメディア データベース DBMaster (データベースマスター) と、イーズが開発・販売を行っているアクセス管理機能を備えた分散データアクセスソフトウェア「InfoUnity MONO (インフォユニティ モノ)」を組み合わせることにより、既存の IT 資産を最大限活用しつつ情報管理体制の構築・強化と情報資産の透徹的な利用が行えるようになります。これにより経営環境や事業モデルの変化にも柔軟に対応できる情報システムの構築が従来の方法と比較して短期間・ローコストで実現します。

両社は今後、製品連携を紹介するプロモーションを通じてユーザ企業や SI 企業への浸透を図っていく予定です。

：製品概要

DBMaster とは

DBMaster は一般的な DBMS の機能に加え、新時代のニーズ (Web、インターネット、クライアント / サーバ、オープン システム、2 バイトのアジア言語、マルチメディア等のサポート) に完全に対応しているマルチメディア データベースです。情報系システム向けデータベースとして高い評価を得ています。

リレーショナルデータベースでありながら軽量コンパクトで導入も容易、競合製品よりも低価格であるため、高いコストパフォーマンスを実現しています。

DBMaster の最大の特長は、バンドルデータベースであることです。

アプリケーションやハードウェアにバンドルすることで、エンドユーザは RDB を別途購入する必要はなく、使用時においても RDB の存在を意識することはありません。またバンドルするアプリケーションは開発時に入念に検証を行うことで導入後の障害を回避することができ、トータルコストにおいて大きなアドバンテージを引き出せます。

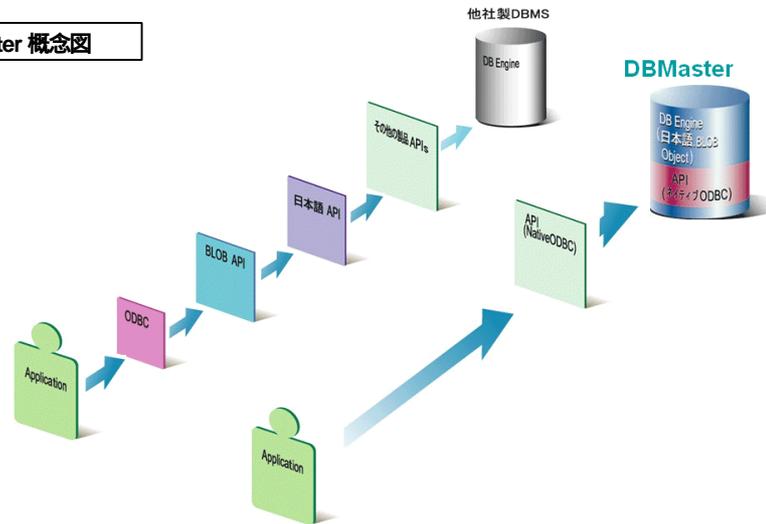
DBMaster は各種 OS 上で動作し、ODBC その他開発言語に対応しておりますので、幅広い用途に

本リリースは株式会社 DBMaker Japan とイーズ・コミュニケーションズ株式会社の共同リリースです。
重複して配信される場合がございますが、あらかじめご了承ください。

導入可能です。

2008年上旬には大幅に機能拡張された新バージョンのリリースも予定しており、更なる拡販を視野に入れています。

DBMaster 概念図

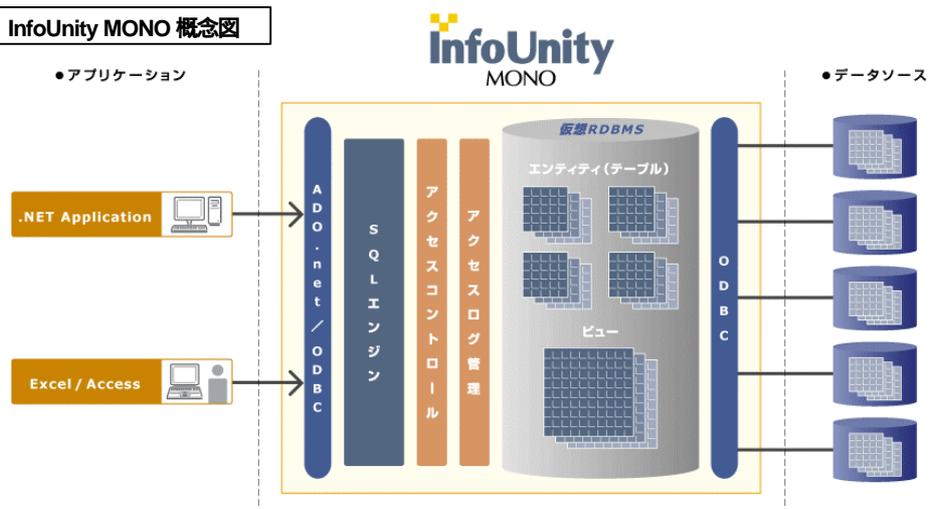


InfoUnity MONO とは

InfoUnity MONO は、イーズが提供する仮想 RDBMS 製品です。データの実体は既存もしくは新規のデータベースに存在するデータを使用するため、InfoUnity MONO は実データを保持せず仮想 RDBMS として動作することが可能となっています。また、データソースが存在する既存のシステムには、一切変更を加えず運用することが可能です。

InfoUnity MONO を利用することにより、アプリケーションはその背後にあるデータソースの実体を意識することなくデータを透過的に利用することが可能となるため、従来の手法に比べて分散データを利用するアプリケーションの開発を容易に実現します。また、InfoUnity MONO 上に登録されたオブジェクトに対してユーザ / グループ単位でのアクセス制御機能も提供しており、すべてのアクセスに関する IP アドレス、ユーザ ID、発行された SQL などをアクセスログに記録することができるため、不正アクセスの抑止と、万一の際の迅速な対応が可能となります。

InfoUnity MONO 概念図



本リリースは株式会社 DBMaker Japan とイーゼ・コミュニケーションズ株式会社の共同リリースです。
重複して配信される場合がございますが、あらかじめご了承ください。

： 会社概要

株式会社 DBMaker Japan について

株式会社 DBMaker Japan は、台湾 SYSCOM グループの米国 CASEMaker 社が開発する RDBMS 『DBMaster』の販売サポートを行う日本総代理店として、2002年2月に設立されました。現在は DBMaster 販売の他に開発請負業務にも注力しており、SYSCOM グループの中国西安の拠点、凌安電脳公司にて低コスト高品質の開発サービスを提供しています。

イーゼ・コミュニケーションズ株式会社について

イーゼ・コミュニケーションズは、日本の企業が持つ多様な情報資産の簡単・自由・安全な活用を支援するソフトウェアの開発・販売を目的に2001年3月に設立されました。

さまざまな企業のデータ連携・統合分野での実績があります。

< 本件に関するお問い合わせ先 >

株式会社 DBMaker Japan 製品部

〒150-0032 東京都渋谷区鶯谷町 2-3 COMS 1F

TEL : 03-5456-8838

e-mail : support@dbmaker.co.jp

Website : www.dbmaker.co.jp

イーゼ・コミュニケーションズ株式会社 戦略営業本部マーケティング部 担当 : 平山

〒106-0047 東京都港区南麻布 2-12-7 南麻布 TMD ビル 4F

TEL : 03-5427-5977

e-mail : hirayama@i-ze.com

Website : www.i-ze.com

記載されている会社名、製品名等は、各社の商標または登録商標です。ニュースリリースの情報は、発表日時点のものです。その後、予告なしに変更されることがありますので、予めご了承ください。